

伊賀市文化財保存活用地域計画進捗管理総括シート

(※事業主体のうち、◎は取り組みの中心となる主体、○は取り組みに参画する主体)

基本 理念	文化財の保存・活用の課題	基本 方針	方針	取り組み名	取り組み内容	期間			事業主体							進捗管理		R 5 年度		R 6 年度	
						前	中	後	行政	地域	市民 団体等	所有 者等	民間	専門 家等	主体	前期 (R5-R7) 事業内容及び指標・目標	実施状況・成果（指標の実績など）	実施状況・成果（指標の実績など）			
歴史文化の彩りを誇れるまち	文化財の調査の課題	1 歴史文化の彩りを知る 調査研究																			
			文化財の把握調査と詳細調査の実施及び調査・収集の体制の拡充が必要。	1-1	埋蔵文化財確認調査	埋蔵文化財包蔵地における開発等に伴う調査を行い、その成果を年報にまとめて報告し、本市の歴史文化の資産とする。															
				1-2	歴史的建造物の調査	市内に残る歴史的建造物について、ヘリテージマネージャー活動支援事業等を通じて適宜調査し、その成果を本市の歴史文化の資産とする。															
			文化財や歴史文化にかかる情報の整理が必要。	1-3	美術工芸品の調査	市内に残る美術工芸品について適宜調査し、その成果を本市の歴史文化の資産とする。															
				1-4	民俗文化財の調査	市内の民俗文化財について適宜調査を実施し、その成果を本市の歴史文化の資産とする。															
			天然記念物は、自然環境の変化による変異や滅失の恐れがあるものがある。	1-5	天然記念物の調査	市内の天然記念物について、適宜調査を実施し、保護等の経年変化を記録するとともに本市の歴史文化の資産とする。															
			個人で継承されている古文書等の資料が散逸する恐れがある。	1-6	歴史資料の調査	市内の個人所蔵の歴史資料や歴史的公文書の調査を適宜実施し、その成果を本市の歴史文化の資産とする。															
	文化財を調査する個人や団体構成員の減少・高齢化により、調査の継続が困難。			1-7	調査体制の拡充	文化財の調査が継続できるよう、調査会等の団体への加入促進や、市の専門職員の配置を拡充する。															
	文化財の保存管理の課題	2 歴史文化の彩りをつなぐ 保存管理		2-1	文化財の新規指定・登録	調査研究の成果で価値が判明したものの中から、適宜文化財の指定及び登録を行う。															
				2-2	歴史的風致形成建造物の指定	歴史的風致維持向上計画の重点地区内において、景観を維持する上で必要な建造物を指定する。															
			経年劣化・破損した文化財の適切な修理・保存と維持管理が必要。	2-3	有形文化財の保存修理	経年劣化している観音提寺樓門二天像修理事業等、有形文化財の保存修理事業を実施する。															
				2-4	民俗文化財保存継承事業	上野天神祭のダンジリ行事 民俗文化財伝承・活用等事業及び、勝手神社神事踊りに代表される民俗文化財の保存修理を行う。															
			文化財の保存整備や個別文化財の保存活用計画の策定が必要。	2-5	史跡の保存整備と環境整備の推進	伊賀国庁跡の保存整備と伊賀国分寺跡・上野城跡のほか、養虫庵保存修理事業等の史跡の環境整備を行う。															
				2-6	文化財施設等の維持管理	旧崇広堂・旧小田小学校本館・入交家住宅・城之越遺跡・赤井家住宅等について、適切に維持管理する。															
				2-7	個別文化財の保存活用計画等の策定	上野城跡及び城之越遺跡の保存活用計画等を策定する。															
				2-8	資料の保存・整理	歴史・考古・民俗の各種資料を適切に整理し、保存管理するとともに、保管施設の整備に努める。															
文化財を継承するための人材と費用の確保が必要。			2-9	文化財を継承するための人材と費用の確保	有形文化財や民俗文化財を保存・継承するための人材・人員の確保と費用を確保するための取り組みを行う。																

基本理念	文化財の保存・活用の課題	基本方針	方針	取り組み名	取り組み内容	期間			事業主体							進捗管理	R5年度	R6年度				
						前	中	後	行政	地域	市民団体等	所有者等	民間	専門家等	主体				前期(R5-R7)事業内容及び指標・目標	実施状況・成果（指標の実績など）	実施状況・成果（指標の実績など）	
歴史文化の彩りを誇れるまち	文化財の普及啓発の課題	3 歴史文化の彩りを伝えるる普及啓発	方針①：文化財の説明看板の設置や歴史文化に関するパンフレットの作成、デジタルコンテンツを使った発信に努める。	3-1	文化財看板の設置	文化財説明看板設置事業や宿場・街道案内板等整備事業等、指定文化財の説明看板について、QRコードを付設したものなど、時代に対応したものを設置する事業を展開する。	→			◎	○	○	◎			行政（観光戦略課・文化財課）所有者等	文化財等説明看板について、QRコードを付設する。 指標：年間の説明看板のQRコード付設数 目標：2件	文化財等説明看板は設置したが、QRコード付設数0件。	日本遺産の案内看板にQRコードを2件付設予定。（壬生野城跡、藤林長門守墓所）			
				3-2	文化財パンフレットの作成	分野別・地域別の文化財パンフレットを作成する。	→			◎	◎	○	○	○	◎	行政（文化財課）地域専門家等	分野別・地域別の文化財パンフレットを作成する。 指標：年間の文化財パンフレット作成数 目標：2件	保存修理等を実施した文化財に関するパンフレットを6件作成し、事業の周知が図れた。（観音提寺・西連寺・常住寺・蓮徳寺・高倉神社・町井家住宅）	市内の建造物マップなどパンフレットを4件作成した。建造物マップについては、伊賀市の歴史的建造物のPRのため、観光案内窓口にも設置した。（観音提寺多聞天・新大仏寺・入交家住宅・建造物マップ）			
				3-3	SNS・インターネットを活用した発信	文化財の魅力を伝える写真のSNS掲載や動画配信する。また、「デジタルミュージアム秘蔵の国伊賀」の掲載資料等を拡充する。	→			◎	○	○	◎	○	○	行政（文化財課）所有者等	文化財の魅力を伝える写真や動画のSNS配信を実施する。 指標：年間のSNS投稿数 目標：3件	文化財の魅力を伝える写真や動画ほか、イベントの告知などのSNS配信を8件行った。	文化財の魅力を伝える写真や動画ほか、イベントの告知などのSNS配信を11件行った。			
				3-4	学校教育との連携	副読本『伊賀のこと』等を活用し地域学習に取り組む。出前講座や資料の貸し出しを行う。	→			◎	◎	○	○	○	○	行政 地域	『伊賀のこと』等を活用し地域学習に取り組む。出前講座や資料の貸し出しを行う。 指標：年間の出前講座等回数 目標：1件	市内の小・中学校の地域学習にて地域の文化財についての出前講座を3件実施した。（青山中学校・壬生野小学校等）	市内の小・中学校等の地域学習にて地域の文化財についての出前講座等を4件実施した。（青山中学校・大山田小学校・あけぼの高校等）			
							3-5	地域との連携	地域や団体、民間と連携し歴史文化に関わる講演会を開催する。	→			◎	◎	○	○	○	◎	行政（文化財課）地域専門家等	地域等での出前講座等で講演を行う。 指標：年間の講演数 目標：2件	地域等での出前講座や他団体の講演会等で15件講演を行った。	地域等での出前講座や他団体の講演会等で4件講演を行った。
	文化財の活用の課題	4 歴史文化の彩りを楽しむ活用	方針①：文化財に親しむ機会の充実に努め、魅力を伝える取り組みを行う。	4-1	有形文化財を見る機会の充実	所有者や地域と連携し、身近な有形文化財に触れるため、見学会等を開催する。	→				○	○	○	◎	○	所有者等	有形文化財の見学会等を実施する。 指標：年間の見学会等の開催数 目標：2件	保存修理等を実施した文化財に関する現地説明会等を3件実施し、事業内容や文化財についての周知が図れた。	保存修理等を実施した文化財に関する現地説明会等を4件実施し、事業内容や文化財についての周知が図れた。			
				4-2	民俗文化財への参加・体験	上野天神祭のダンジリ行事 民俗文化財伝承・活用等事業など、民俗文化財の見学や参加・体験する機会を設ける。	→				○	◎		◎	○	地域所有者等	民俗文化財事業への参加・体験する機会を設ける。 指標：年間の体験会等の開催数 目標：1件	民俗文化財に触れる事業として天神ウォークやお囃子体験を2件実施した。	民俗文化財に触れる事業として天神ウォークやお囃子体験を2件実施した。			
				4-3	史跡や天然記念物に触れる機会の充実	地域と連携し、身近な史跡や天然記念物に触れるため文化財ウォーキングやオオサンショウウオ観察会等を開催する。	→						◎	◎	○	◎	○	行政（文化財課）地域所有者等	文化財ウォーキングやオオサンショウウオ観察会を開催する。 指標：年間の開催数 目標：2回	地域と連携した史跡等に触れる催しを6回開催した。 ・文化財ウォーク（府中地区）1回 ・オオサンショウウオ観察会1回 ・大山田郷土資料館で考古資料の展示などの企画展（2回） ・府中地区及び城之越学習館にて考古資料の展示（各1回）	地域と連携した史跡等に触れる催しを5回開催した。 ・文化財ウォーク（府中地区）1回 ・大山田郷土資料館で考古資料の展示などの企画展（2回） ・府中地区及び城之越学習館にて考古資料の展示（各1回）	
				4-4	文化財を活用した観光事業の展開	伊賀ぶらり体験博覧会「いがぶら」と連携した文化財を知る、触れる機会を設けるなど、観光と連携した取り組みを行う。	→							○	○	◎	○	民間	伊賀ぶらり体験博覧会「いがぶら」と連携し、文化財を知る、触れる機会を設けるなど文化財を知る、触れる機会を設ける取り組みを実施する。 指標：年間の連携事業数 目標：10件	伊賀ぶらり体験博覧会「いがぶら」と連携し、城下町の歴史的建造物を巡るなど文化財を知る、触れる機会を設ける取り組みを26件実施した。	伊賀ぶらり体験博覧会「いがぶら」と連携し、文化財施設でのワークショップなど文化財を知る、触れる機会を設ける取り組みを15件実施した。	
				4-5	文化財施設等における各種展覧会等の開催	旧楽広堂・赤井家住宅等の施設において、芸術文化に関する展示会等を開催する。	→							○		◎		民間	文化財施設等において芸術文化に関する展示会等を開催する。 指標：年間の展示会等開催数 目標：10件	文化財施設を活用した写真展などの企画展や音楽コンサートなどを20件開催した。	文化財施設を活用した企画展や音楽コンサートなどを21件開催予定。	
				4-6	芭蕉翁顕彰事業の推進	芭蕉祭やしぐれ忌を開催するとともに、企画展等を開催する。	→						◎	○		◎		行政（文化振興課）民間	芭蕉翁顕彰事業を推進するための事業を開催する。 指標：年間の事業開催数 目標：9件	芭蕉翁顕彰事業を9件実施した。特に芭蕉翁生誕380年記念事業として、新たにイベントの企画や啓発物品の作成を行い、市内外へ広く芭蕉翁顕彰を発信した。	芭蕉翁顕彰事業を9件実施した。特に芭蕉翁生誕380年記念事業として、地域の資料を芭蕉翁記念館で展示し、俳文学会と連携した講演会を開催するなど、市内外へ文化財の魅力を発信することができた。	
				4-7	日本遺産関係事業の推進	構成文化財を巡るサイクリングロードの設定やツアー造成等を実施する。	→							◎	○	◎		市民団体等 民間	日本遺産の構成文化財を活用した事業を実施する。 指標：年間の事業実施数 目標：1件	日本遺産の構成文化財のタペストリーや子ども向けガイドブックの作成など活用事業を4件実施した。	日本遺産の構成文化財のガイド養成研修やツアーの造成など活用事業を5件実施した。	
				4-8	歴史的建造物の活用	旧上野市庁舎等の指定文化財の活用や登録有形文化財建造物美観向上事業、古民家等再生事業等、上野城下町を中心に歴史的建造物をさまざまな用途に活用する取り組みを行う。	→							○			◎	○	所有者等	歴史的建造物を活用した事業を実施する。 指標：年間の事業実施数 目標：1件	旧上野市庁舎等の指定文化財の改修事業や古民家等再生事業等、上野城下町を中心に歴史的建造物をさまざまな用途に活用する取り組みを4件実施した。	旧上野市庁舎等の指定文化財の改修事業や古民家等再生事業等、上野城下町を中心に歴史的建造物をさまざまな用途に活用する取り組みを3件実施した。
							4-9	博物館等の施設整備の検討	資料の保存・展示・研究の施設である博物館施設の整備の検討を行う。	→						◎		○	◎		行政 専門家等	資料の保存・展示・研究の施設である博物館の施設整備の基本計画策定に取り組む。
	文化財の防犯・防災に関する課題	文化財の防犯・防災対策を着実に進める	方針①：防災設備の点検と訓練の実施に取り組む。	1	文化財防災設備の点検及び訓練	整備した文化財防災設備の保守点検及び作動訓練を実施する。	→				○	◎		◎		地域所有者等	整備した文化財防災設備の保守点検及び作動訓練を実施する。 指標：実施施設数 目標：6施設	整備した文化財防災設備の保守点検及び作動訓練を6施設実施した。	整備した文化財防災設備の保守点検及び作動訓練を6施設実施した。			
				2	文化財防火訓練	文化財防火デーに合わせた、文化財防火訓練を実施する。	→				○	○		◎		所有者等	文化財防火デーに合わせた文化財防火訓練を実施する。 指標：防火訓練実施数 目標：5件	文化財防火デーに合わせた文化財防火訓練を4件実施した。	文化財防火デーに合わせた文化財防火訓練を8件実施した。			
				3	災害リスクの把握	文化財ハザードマップを作成する。	→						◎	○			行政	文化財ハザードマップの作成に取り組む。 指標：文化財ハザードマップの完成した割合（全39地区分のうち） 目標：100%	0件	10%目標に作成予定。		
				4	緊急時の連絡・通報体制の整備	災害・盗難など緊急時の対応マニュアルを作成する。	→				○	○		◎		所有者等	災害・盗難など緊急時の対応マニュアル作成に取り組むための啓発チラシ等を所有者へ送付する。 指標：チラシ等の配布数 目標：100件	0件	100件目標に啓発チラシ等を所有者へ送付する。			